

PLATON[®] IMPLANT SYSTEM
USERS MANUAL
FOR IMPLANT PLACEMENT



プラトン[®]インプラントシステム
サージカルマニュアル

はじめに

本マニュアルは、PLATON IMPLANT SYSTEM（以下「プラトンシステム」という）の取扱方法、操作手順、注意事項などを説明したものです。プラトンシステムの性能を十分にご理解いただくために、ご使用になる前によくお読みください。また、いつでもご利用いただけますよう大切に保管してください。

プラトンシステムのご使用にあたって

- プラトンシステムをご使用の前に、術式、操作方法を十分ご理解の上ご使用ください。
- プラトンシステムは、歯牙欠損症例の機能的及び審美的回復を目的として開発されています。
- 患者の全身状態、健康状態を事前に診査、診断し、治療の適否、治療開始時期を見極めてからご使用ください。
- 埋入予定部位の骨量、骨質、付着粘膜の量、咬合状態などを十分診査・診断の上、治療を行ってください。
- 手術に際しては、当社指定のインプラントツールをご使用ください。
- プラトンインプラントは滅菌済医療器具です。開封は使用直前に行ってください。
- 万が一インプラントが不潔域に触れてしまった際は廃棄して、新しいインプラントをご使用ください。
- インプラント埋入手術後の治癒期間は、患者の状態や手術時の状況、またペリオテストやOsstell™などの客観的な評価基準を基に判断を行ってください。治癒期間の目安は約3～6ヶ月です。
- ドリル、システムツールは、ご使用前に必ず洗浄、滅菌してからご使用ください。
- ドリル、システムツールは、血液や骨、水分が付着したままにしておくと、変色や劣化の原因となることがあります。ご使用後は必ず血液や骨、水分などを完全に除去し乾燥させてから清潔な場所で管理保管してください。

外科術式編

第 1 章 適応症の選択

1. 適応症例の選択に必要な診査・診断	1
2. 模型による診査・診断とシミュレーション	2
3. 診断用ステント・サージカルステントの製作	3
4. CT による診査・診断（2 次元および 3 次元シミュレーション）	4
5. 診断時の注意事項（ドリルと埋入深度）	5

第 2 章 治療計画の立案

1. プラトンシステムの概要	6
2. 補綴構造Ⅰ インプラントタイプによる違い	7
3. 補綴構造Ⅱ 固定方式による違い	8
4. システムの選択要素	9
5. 治療のステップ（1 回法、2 回法）	10

第 3 章 インフォームドコンセント

1. 治療計画に基づいた患者さんに説明すべき治療項目	11
----------------------------	----

第 4 章 術前準備

1) インプラント治療における清潔概念	12
2) 手術環境の感染予防対策	12
3) 手術前日までの準備	13
4) インプラントシステムの準備	13
5) 手術直前の準備と確認事項	14

第 5 章 疼痛管理と切開・剥離について

1) 疼痛管理について	15
2) 粘膜切開と粘膜骨膜弁の形成	16

第6章 術式

1. ドリルスケジュール（使用手順）概要	17
1) 基本ドリル&ラウンドバー	22
2) Type I に使用するドリル	24
3) Type II に使用するドリル	25
4) Type III に使用するドリル	27
5) Type IV に使用するドリル	29
6) インプラント床形成を補助する各種システムツール	33
7) オptionalドリル	36
8) ドリリングにおける注意事項	37
9) 骨質が硬いケース	38
10) 骨幅が狭いケース	41
11) 上顎洞が近接しているケース	43
12) 外科用アクセサリ	45
2. インプラントの埋入	46
1) 埋入の準備	46
2) 埋入	50
3) インプラントホルダーの装着方法	55

第7章 粘膜骨膜弁の縫合と手術直後の処置

1) 手術後の処置と指導	58
2) 既存の補綴物について	58

第8章 治癒期間中の指導と管理

1) 2回法について	59
2) オッセオインテグレーションの確認	59

第9章 2次外科手術について

1. ヒーリングアバットメントの種類	61
2. ヒーリングアバットメントの選択指標	63

インプラント治療の流れ

Surgical

診査・診断

治療計画
インフォームドコンセント

術前準備
インプラント埋入手術

治癒期間

Prosthetic

印象

プロビジョナルレストレーション

最終上部構造

メンテナンス

外科術式編

From diagnosis to surgery

